

RP-1モルタル 水路補修用  
一材型断面修復用ポリマーセメントモルタル

# RP-1モルタル

(粉末樹脂入り)

## 標準施工要領書

昭和電工建材株式会社

## 1. 用途

- ・農業用水路施設等の改修工事
- ・コンクリート構造物の補修・改修

## 2. 使用材料

### ■プライマー

施工する下地コンクリートに塗布して下さい。

荷姿・標準施工面積

品名	荷姿	標準使用量	標準施工面積
CE35プライマー	主剤 8kg/缶	0.3kg/m <sup>2</sup>	40 m <sup>2</sup>
	硬化剤 4kg/缶		

### ■粉体

荷姿・標準施工面積

配合比(重量比)	RP-1	水	標準練り上がり量	標準施工面積
1袋あたり	20kg/袋	3.3kg～3.5kg	11.2 リットル/袋	1.1 m <sup>2</sup> (10 mm厚)
1m <sup>3</sup> あたり	1,800kg (約 90 袋)	297kg～315kg	1,000 リットル	約 100m <sup>2</sup> (10mm厚)

### ■仕上げ補助剤

断面修復材用膜養生剤及び表面仕上げ補助剤

荷姿・標準施工面積

品名	荷姿	標準使用量	標準施工面積
RPフィニッシャー	18kg/缶	0.2kg/m <sup>2</sup> (2倍液)※	180 m <sup>2</sup>

## 3. 施工方法

### 3-1) 下地処理 別途工事

#### 1) 劣化部除去

- ① サンドブラスト、ウォータージェット、はつり等で劣化したコンクリートを除去し健全なコンクリート面を露出させて下さい。(脆弱部分、油分、ゴミ、突起物等は完全に除去して下さい。)
- ② 鉄筋が錆びている場合は防錆処理をして下さい。
- ③ 塗布する躯体の清掃を十分に行います。

#### 2) 下地確認

コンクリート表面の状態が正常であるか、目視・ハンマーによる打音などで下地の状態を確認して下さい。

##### ① 目視による確認

亀裂・ジャンカ・目違い不陸・塵・油脂分付着・突起物・貫通パイプ・ピンホール等の確認をして下さい。

## ②打音による確認

ハンマー等を使用し、下地表面の浮き・レイトランス・硬化不良など確認して下さい。

※支障のある箇所を発見した場合は工事担当者との協議の上、速やかに適正な処置を行って下さい。

## 3-2)プライマー塗布

### CE35プライマー

#### ①計量

主剤 2 / 硬化剤 1の重量比を台はかりで計量して下さい。

#### ②混合

ハンドミキサー等を用いて泡の巻きこみがないように、均一になるまで約3分間混合して下さい。

#### ③塗布

標準塗布量(0.3kg/m<sup>2</sup>)をローラー、ハケ等でムラのないように均一に塗布します。

※表面にタック(粘り)があるうちにRP-1モルタルを施工して下さい。タックがなくなった場合はもう一度塗布してから施工下さい。(20℃で可使時間 80~100分が目安)

(注意)タックが出ている時間は気温、風量によって異なりますのでご注意下さい。

## 3-3)塗り付け

### RP-1モルタル

#### ①計量

粉体 20kg (1袋) / 水 3.3~3.5kgを台はかりで計量して下さい。

(水は現場にてご用意下さい。)

#### ②混練

容器の中に計量した水を入れ、次に粉体を徐々に加えながらハンドミキサー等で泡の巻きこみや固まりができないように約3分間混練して下さい。

#### ③塗り付け

・塗布したプライマーのタックを確認してから、RP-1モルタルを塗りつけて下さい。

・最初の1層は、約3~5mm程度でしごき塗りをしてください。

その後の塗り重ねは下層がある程度硬化してきた(材料が動かない状態)後に行ってください。

・塗り厚さの目安は、一日あたり20mmとして、5~10mmの間で塗り重ねて下さい

また、施工箇所が大面積の平面で、全面に15~30mm塗り重ねる場合は2日に分けて塗り重ねてください。

※欠損が大きく、落下の危険がある場合は、アンカー等の落下防止対策を行って下さい。

※可使時間は約60分(20℃)です。気温、水温等によって影響を受けます。

### 標準塗り付け可能厚さ※(コテ、吹き付け)

壁面ハツリ箇所の埋め込み	壁面	床面	天井面
3~30mm	3~20mm	3~30mm	3~10mm

※厚さは目安であり、下地条件によって異なります。

### 3-4)仕上げ

#### RPフィニッシャー

##### ①計量

RPフィニッシャー 1 / 清水 1の重量比を台はかりで計量して下さい。

##### ②混合

ハンドミキサー等を用いて泡の巻きこみがないように、均一になるまで約3分間攪拌して下さい。

##### ③塗布

RP-1モルタルが適度に締まった状態を見て、RPフィニッシャーを噴霧器等で(標準塗布量 0.2kg/m<sup>2</sup>)散布し、コテで仕上げして下さい。

### 3-5)養生

- ・温度が高く結露が発生しやすい箇所では硬化不良を起こしやすいので必ず換気をして下さい。
- ・通風や直射日光等により急激な乾燥の恐れがある場合はシート等で養生して下さい。
- ・塗り付け後の養生は3日以上(20℃)として下さい。

## 4. 注意事項

#### ■施工上の注意

- ・気温が5℃以下になる場合は施工を中止して下さい。やむをえず施工をする場合は保温措置を行って下さい。
- ・現場で他の材料や砂、セメント等を混入しないで下さい。

#### ■取扱い・保管上の注意

- ・取り扱い時には必ず保護具(保護メガネ、ゴム手袋、保護マスク)を着用して下さい。
- ・雨露のかからない湿気の少ないところで地面に直接放置しないで下さい。
- ・万一目に入った場合は直ちに 多量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は直ちに 水で良く洗い流し必要に応じて医師の処置を受けて下さい。

★その他取り扱いについては別途MSDSをご参照下さい。